



今回の紙面

- ◆ 地域医療最前線の22 《船津雅幸先生》 ◆ 研修医のページその8 《高井悠子先生》 ◆ 高校生医療現場体験セミナー報告 《8/4, 8/8》
- ◆ 看護師さんのページその3 《秋山由美子さん》 ◆ 第1回島根県地域医療教育連絡会開催報告 ◆ 第1回臨床研修プログラム発展講習会報告
- ◆ 島根県臨床研修指導医講習会開催報告 ◆ 医学生夏季地域医療実習報告 ◆ 県のドクターバンクから《島根県医師会》 ◆ 島根県からのお知らせなど

地域医療最前線22  
隠岐病院、2ヶ月の勤務を終えて

船津 雅 幸



を述べてみたいと思います。

まず私は大学卒業後、大学の医局からの派遣により関東近縁の大小いくつかの病院で勤務した経験があり、近年は医院の診療に携わっておりました。今回は二ヶ月という短期間の離島勤務でしたが、その中で今までにないものに触れ、改めて考えさせられたと感じております。

隠岐病院は自治医大の出身の先生が何人かいらつしやり、僻地医療にたいへんなエネルギーを保持しているようです。離島故に病態の判断には、時に過酷さを要求されます。専門医の不在や医療設備の限界を考慮し、本土の病院への紹介時にヘリコプターを使った緊急搬送も視野に入れます。患者さんの生活事情を考えれば決して安易な紹介であってはならないし、ましてや判断を誤り手遅れになることも許されません。所謂好ましくない意味での『何でもないか(内科)』の正

反対をいく、まさに 'general' に患者を

ています。

把握し判断ができる super Doctor を目指すのです。彼らはいつも臨戦態勢ですが、決して疲れきってはおらずモチベーションも高いように見えます。単独勤務の各科の先生もでき得る診療や手術に力を注ぎ、自ら目指す医療と現実とのギャップに戸惑いながらも日々立ち向かっているのです。島根県は特に外科医、産婦人科医、小児科医が不足していると感じております。外科・内科が医療の根幹であることは疑う余地は無く、外科医不足は島根県の医療を揺るがしかねない問題だと思えます。外科医は、他科の医師から見るとある意味憧れの存在で、この格好い外科医を目指す若い医師が増えることを祈ります。そして最後に産婦人科を見直して戴きたい。近年の産婦人科を取り巻く過酷な現状は否定できません。しかし思い出して下さい。生命誕生の喜びは何物にも代えがたいものがあり、まだまだ産婦人科は捨てたものではありません。

◆ 船津先生、本当にありがとうございました。

研修医のページ その8

出雲市民病院 高井悠子

出雲市民病院で二年目研修中です。小さい病院ですが研修環境は非常に充実し

比較的研修期間の長い一般内科で、研修医は裁量権かつ責任を持つ「主治医」として働きます。予期せぬ病状変化などにも遭遇しますが、責任を持って事態に向き合い対処する経験の中で、問題解決能力や Professionalism が鍛えられていると実感しています。また主治医として患者さんや家族と共に考え共に悩むという経験から非常に多くを学びました。

研修医が主治医機能を持つのは危険との考えもあるでしょうが、診療の安全性は十分保障されています。治療に関する事から些細な疑問まで気軽に相談できる場として、指導医とランチオンカンファを毎日行います。病棟でもシニアレジデントが即座に研修医をサポートできる状況にあり心強いです。指導医・シニアに日々細やかな指導を頂いています。

この八、九月は内科外来研修を行い、限られた時間の中で診断治療する難しさを実感しました。一方「継続性」を活用することで問題が解決したり、健康増進や予防など多様な関わりも可能であることを学びました。一般外来の醍醐味を経験できたと思います。

初期研修を振り返り、敷かれたレールに乗るのではなく自ら考える研修をさせて頂いたと思います。学べば学ぶほど新たな課題ができ、もつと学ばなければといつも思っています。勉強し続ける指導

医の姿にも影響を受けました。今後も精進していききたいと思えます。

### 『高校生医療現場体験セミナー』開催

県内の高校から三十七名の生徒が参加



研修の感想を述べる高校生たち

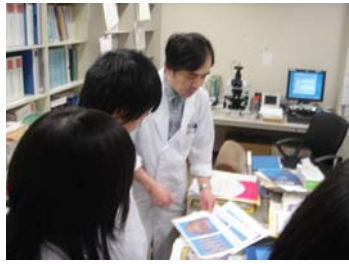
島根県では、医師を目指す高校生を一人でも増やそうと、八月四日県立中央病院（出雲市）、八月八日浜田医療センター、浜田市の三カ所の国民健康保険診療所で「高校生医療現場体験セミナー」を開催しました。

出雲会場には松江北高、松江南高、松江東高、開星高、出雲高の五校から二十名が、浜田会場には浜田高、大田高、三刀屋高、益田高、出雲高の五校から十七名が参加し、医療の最前線に触れ、地域医療への理解を深めました。

セミナーの午前中は、救急救命センター、放射線室、病棟などで指導医師から説明を受け、午後からはベテラン医師や若手医師の体験談を聞き、最後には、グループごとに体験発表をしました。参加した高校生からは、「医療現場を見学するだけだと思っていたが、予想よりずっと多くのことが学べてよかった」、「先生の

話しや医療現場を体験できたことで、よりいっそう医学部へ進学したいと思った」など、大変前向きな意見をもらうことができました。

（医療対策課 口羽）



臓器の写真を見ながら説明を受けている様子（浜田医療センターにて）

### ◆看護師やんのページの3

益田地域医療センター医師会病院

看護師 秋山 由美子

益田地域医療センター医師会病院に勤務して



秋山 由美子さん 益田医師会病院に  
看護師として勤務し  
始めて五ヶ月を迎え  
ようとしています。

私は今年の春まで山口大学医学部付属病院に勤務していました。大学病院では性質上、困難とされる手術や治療を手がけ、また新たな治療の開発にも取り組み、学会・マスメディアを通じて民間に公開しています。したがって他県から来院される患者様も少なくありません。入退院

が激しく、患者様と良好な信頼関係が築けた頃退院となることも多くありました。そういった環境で四年間働いてまいりましたが、今年六月から縁あって益田医師会病院に勤務することになりました。医師会病院は「安心して暮らせる地域づくりを目的とし、地域ニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います」という理念を掲げ、地域に密着した病院を目指しています。入院患者様は地域の方が多く、看護師の役割も病院内だけにとどまらず、地域の各種イベントへ救護員として参加、小・中・高等学校等への検診への出向も行っています。

実際医師会病院で勤務してみると、患者様や家族の方からだけでなく、自分の住んでいる近所の方からも、「〇〇先生はお元気ですか？」「〇〇師長さんはまだいらっしやる？」など聞かれることが多く、地域の方が病院のことに詳しいことに驚きました。県外から来た私は、病院と地域の繋がりの深さを実感し、「うまくとけ込んで仕事ができるだろうか」という不安を覚ええました。入職して五ヶ月目、まだその不安は完全には消えませんが、何かと声をかけてくれるスタッフに助けられ、少しずつ慣れてきたという状況です。そして何より患者様や家族の方と触れ合うことにより、「益田」を知ることができ、益田医師会病院の看護師として成長していることを実感しています。

### 平成十八年度第一回

### 島根県地域医療教育連絡会開催



連絡会の様子

将来、へき地で勤務する医師を育成するため、島根大学・県内三十九の医学生実習受入医療機関・県による「連絡会」の初会合を九月七日に島根大学医学部で

開催しました。

当日は約五十名の出席があり、大学から「夢と使命感を持った地域医療人育成GP 日本版WAMIプログラム」の説明と今年度から始まった六年生の三週間の実習を受け入れた益田医師会病院・掛合診療所から実習の報告を受けました。また、大学と受入医療機関との活発な意見交換がなされ、大学側からは「大学で学べないことを伝えて欲しい」「医療機関からは「学生の希望する診療科等のプロフィールを事前に情報提供して欲しい」などの要望が出されました。今年度中に第二回目の連絡会を開催する予定です。

【医療対策課 坂本】

臨床研修プログラムが研修医にとって魅力的なものとなるよう病院の担当者に参加していただき、今回で三回目となるセミナーを九月三十日（土）に松江市内のホテルで行いました。

長野厚生連佐久総合病院川尻宏昭先生から「地方一般病院における医師の育成・その歴史と今後」の講演の後、参加者約五十名と意見交換を行いました。

第二回目は十二月九日（土）に地域医療振興協会地域医療研修センター長の名郷直樹先生を招き開催します。

【医療対策課 坂本】



テーマ：『地方一般病院における医師の育成・その歴史と今後』について講演する川尻宏昭先生



熱心に議論する指導医のみなさん

今回で第三回目となる「指導医講習会」を、島根大学医学部との共催で十月二十一日（土）～二十二日（日）の二日間、島根

大学医学部において開催しました。今回もすばらしい講師陣のもと、県内でご活躍の四十七名の指導医が延べ十六時間のワークショップ形式による講習を修了され、厚生労働省医政局長・島根大学医学部附属病院長・島根県知事との連名による「修了証書」が授与されました。

今回の講習会では研修指導のあり方を理解し、卒後研修におけるカリキュラムの立案能力と望ましい指導方法を習得することを目的とし主題を「卒後研修カリキュラム・プランニング」としたワークショップが行われました。本講習会の成果として県内の研修病院にひとりでも多くの研修医が集まることを期待しています。

★スタッフ

▽ディレクター

名古屋大学医学部・伴信太郎先生

▽チーフタスクフォース

呉医療センター・田中丈夫先生

▽タスクフォース

防衛医科大学校・角誠二郎先生

小林裕幸先生

松江赤十字病院・大居慎治先生

島根大学医学部・佐藤秀一先生

大変お世話になりました。

【医療対策課 坂本】



指導医講習会でご指導いただいたスタッフのみなさん

医学生夏季地域医療実習



訪問診療実習

医学生に離島や中山間地の医療を肌で実感してもらうため、八月の夏休みを利用し夏季地域医療実習を実施しました。今年

度は一年生のコースを新設し、二年生と六年生のコースと合わせ計四十名の医学生が隠岐島前、島後、雲南、県央、浜田、

県内各地で開催された夏季地域医療実習の様子



医学生同士で血圧測定。

(益田)



波佐診療所（浜田市）での  
1コマ。診療の様子を見学



実習が終わりほっと一息。

(最終日隠岐保健所にて)

益田地域で地域医療の実態を学びました。県央地区の実習に参加した島根大学医学部三年生の今井雅浩さんは、「初めて患者さんとじかに接したことで、医学に対するさらなる動機づけができた。」と話してくれました。

【医療対策課 口羽】

## 県のドクターバンクから

### ●求人・求職取扱状況

(平成18年10月24日現在)

#### <求人> 26件

邑智郡(病院)／整形外科、精神科

浜田市(病院)／内科

出雲市(診療所)／胃腸科、

邑智郡(病院)／内科、整形外科、在宅医療

鹿足郡(病院)／内科、外科

仁多郡(診療所)／内科

浜田市(診療所)／内科

鹿足郡(病院)／放射線科、内科、麻酔科

益田市(病院)／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科

松江市(病院)／内科、麻酔科

浜田市(病院)／内科、放射線科

江津市(病院)／精神科

仁多郡(病院)／眼科、内科

松江市(その他)／不問

松江市(病院)／内科、リハビリテーション

出雲市(病院)／内科

松江市(その他)／内科

浜田市(その他)／内科

鹿足郡(病院)／整形外科、内科、リハビリテーション

松江市(病院)／内科、整形外科

邑智郡(病院)／内科、整形外科、産婦人科、放射線科

松江市(その他)／不問

雲南市(病院)／麻酔科、精神科、

内科、循環器内科、皮膚科

大田市(病院)／精神科、内科

大田市(診療所)／内科

雲南市(病院)／神経内科、腎臓(循環器)、外科

#### <求職> 1件

希望の担当科／内科、婦人科

●申し込み手続き及び詳細につきましては、当紹介所までお問い合わせ下さい。

[電話番号]0852-21-8813(専用電話)

[ホームページアドレス]

<http://www.shimane.med.or.jp>

/dcbank.htm 【担当:塩田・嘉本】

## 島根の地域医療視察ツアー

### 参加者募集

島根県では、将来県内で勤務を考えておられる医師やそのご家族を対象に地域医療の視察ツアーを開催しています。自然を余すことなく満喫できる島根の地で、実際にその目で町の雰囲気や病院、診療所をみてください。

**日程や視察コースは、ご希望に  
応じますのでお気軽にご連絡  
ください。**

#### ○対象

◆将来島根県での勤務を考えておられる県外の医師及びそのご家族。

#### ○ツアーの費用

◆県の規程に基づき、原則2泊3日分(2名分)の旅費を県が負担します。

#### ○申込方法など

◆参加希望の方は、お気軽に医療対策課医師確保対策室までご連絡ください。

※Eメールでの申し込みは島根県ホームページに「参加申請書」を載せていますので、ご利用ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryota>  
[isaku/](http://www.pref.shimane.lg.jp/iryota/isaku/)

## 島根県で勤務したい方へ

島根県では、県内で勤務していただける医師を探しています。全国どこへでも専任の担当者が出張し、電話やメールでは相談しにくい、細やかな相談にも応じます。お気軽に**医師確保対策室**までご連絡ください。

また、友人・知人に島根県での勤務を希望される医師がおられましたら、同意を得た上で、**医師確保対策室**までご紹介ください。

ご紹介いただいた医師へは、医療機関の情報等を提供し、県内での勤務を支援します。

このポスターを県内の病院や施設に掲示し、医師の紹介を呼びかけています。

## 島根が日本に誇れるあれこれ



写真提供

○松江市

松江市八束町のぼたん生産量は年間約180万本で日本一。そのうち60万本近くが輸出されている。シーズン(4~5月)になると、大根島(だいこんじま)には色とりどりの大輪の花があふれる。



写真提供

○浜田市

浜田市三隅町の三隅大平桜は、高ささなどすべてにおいて日本一。根元周りは5.4メートル。地上2メートルのところまで4本の幹枝に分かれているので、満開のときには雪の小山のような美しさ。

## 島根県医療対策課 医師確保対策室の連絡先

〒690-8501 松江市殿町1番地  
E-mail: [iryota@pref.shimane.lg.jp](mailto:iryota@pref.shimane.lg.jp)  
TEL:0852-22-6684  
FAX:0852-22-6040  
ホームページ[島根の医療]:  
<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryuotaisaku/>